
〒540-0012 大阪市中央区谷町1丁目6番4号

近自無協だより

天満橋八千代ビル 4階

一般社団法人 近畿自動車無線協会

No.249 令和5年7月 夏号

Tel 06-6941-4600

Fax 06-6946-1660

近自無協 令和5年度通常総会 開催される

当協会の令和5年度通常総会は、去る5月29日(月)午後3時から、奈良市のホテル日航奈良で、会員等総勢104名の参加のもと、協会副会長・和歌山県支部長の 三草 大介 有交和歌山株式会社社長の「明るい兆しが見えてきたが、新たな技術を事業に活かしていくことも使命であり、本総会を新たな飛躍の契機としたい。」との開会のことばで始まりました。

池田会長が勇退、新会長に 坂本 栄二 副会長を選任

～ 池田前会長に顧問を委嘱 ～

冒頭、池田会長は、会員各位の平素の活動に対する支援・協力への謝辞と、無線関係優良従業員表彰受賞者への祝辞を述べるとともに、「コロナに関する規制も緩和され、観光需要も復活、一部ではタクシーか足りないと言われるほど。運賃改定の実施など今後の展開に期待が寄せられる。一方で、乗務員やオペレータの不足、デジタル化などの課題もあり、無線利用も大きく変化してきている。デジタル変革の時代に入ったといわれるタクシーも一層のICTの活用が必要。無線配車サービスの一層の向上のため、IP無線やタブレットタイプはもとより、配車アプリも含めて総合的な無線配車システムとして捉え、広く結集を呼び掛けていくのでご協力をお願いしたい。



感謝状を手に固い握手を交わす池田前会長と坂本新会長

なお、私事だが、今総会をもって会長を退任する。皆様には大変お世話になったが、今総会で選任される新会長の下、新体制を確立していただき、コロナ後の明るい未来に向けて、タクシー無線サービスの一層の効率化、多様化を図っていただきたい。」と挨拶しました。

そして、総会後の臨時理事会で、新会長に、坂本 栄二 副会長が選任されるとともに、池田前会長は、坂本新会長から顧問に委嘱されました。

来賓を迎え、挨拶に立った坂本新会長は、「コロナ感染症が5類に変わり動きが出だした。経験したことのない災難であったが、国の支援などでここまで来られた。現在、各地で進められている運賃改定を契機として、人材確保、デジタル化、様々な設備投資により一層のサービス、利便性の向上を図っていくことが使命。無線の高度化は、音声配車からデータ配車へ、そして配車アプリが出てきている。その中で、タクシー無線は、地域の防災・防犯対策に特に自営無線は重要な使命を果たしており、今後も我々是对応していかなければならない。池田会長が永年築いてきた取組みを継承発展させ、皆様のお役に立てるよう努めたい。」と述べました。

令和5年度通常総会 報告

議事進行の概要

会長あいさつ後、出席会員 41 名と委任状及び書面表決書の提出会員 57 名の正会員 98 名の出席により総会成立が報告され、池田会長を議長に、次の議案がそれぞれ審議、承認・決議等されました。

議案 ① 令和 4 年度事業報告、② 令和 4 年度決算報告・監査報告、③ 令和 5 年度事業計画、④ 令和 5 年度収支予算、⑤ 役員の変更、⑥ 令和 6 年度通常総会開催地。



令和 5 年度の取り組みとしては、タクシー無線サービスの一層の向上のため、IP 無線利用会員等への支援や無線配車システム導入のためのサポートなどが挙げられています。

予算については、前年度に引き続き、新年度も減車等や IP 無線移行などに伴い会費収入が更に減少することから、大幅な赤字予算となっており、事務局経費等の一層の経費削減に努めるとしていますが、早急な改善策の検討が必要となっています。

任期満了に伴う役員改選では、**新任理事**として、**関西ハイタク事業協同組合理事 大岡 理人 氏**、**大阪タクシー交友会理事長 牛島 憲人 氏**、**大阪府タクシー事業協同組合理事長 向井 哲己 氏** (5 月 31 日ご逝去)、**阪神タクシー株式会社代表取締役 安井 英二 氏**、**株式会社フクユ代表取締役 松下 誠吾 氏**、**立花神姫タクシー株式会社代表取締役 高石 勇 氏**、**生駒交通株式会社代表取締役 池田 英憲 氏**及び**ひまわりタクシー株式会社代表取締役 新関 亨 氏**の 8 人を選任しました。

また、来年度通常総会の開催地については、これまでの府県持ち回り順のとおり大阪府内とすることが決定され、すべての議案が、提出された書面表決書等を含めて満場一致で承認、選任等されました。

続いて、同じ会場で、引き続き臨時理事会が開催され、前記のとおり、坂本副会長が会長に選定されるとともに、副会長に、引き続き 濱本 民夫、吉川 紀興、三草 大介、田畑 太郎の各副会長と、**新たに株式会社キャビック代表取締役 兼元 秀和 氏**と**生駒交通株式会社 池田 英憲 氏**の 2 氏が副会長に、また、専務理事に引き続き事務局の 平 祐一 氏が選任されました。また、池田前会長は、顧問の委嘱が決定されました。



併せて、各種専門委員会の委員と委員長・副委員長が提案され、承認されました。

そして一旦休憩をはさみ、来場のご来賓に登壇いただき、坂本新会長が挨拶を行うとともに、今回退任された理事の中でも特に長期にわたって尽力いただいた、**池田前会長**と**辻喜代一理事**・**奈良県副支部長**に対し、**坂本新会長**から**感謝状**と**記念品**が贈られました。池田前会長は、昭和 57 年の理事就任以来、副会長 17 年、会長 5 年の計 41 年の長きにわたり、また、辻前副支部長には平成 7 年に理事に就任以来、副支部長としても活躍いた

だき計 28 年にわたり、タクシー無線の発展と組織強化にご尽力、ご貢献いただきました。その後、ご来賓の各機関のご代表から挨拶を頂戴しました。

最後に、来年度通常総会の開催地となった大阪の、濱本 民夫 副会長から



「非常に難しい時代の中、坂本新会長の舵取りの下、悩むことなく前進していけることを目標として、今後一層のご協力をお願いしたい」と閉会のことばが述べられ、総会は終了しました。

なお、総会会場前ロビーでは、午後2時から、賛助会員の システムオリジン、西菱電機、デンソーソリューション、新潟通信機、モバイルクリエイトの5社のほか、配車アプリのGOとS.RIDEも加わり、無線機・配車システム・配車アプリの展示・相談も行われました。

続いて、やっと制限のない形で開催され懇親会は、開催地の 辻 喜代一 前奈良県副支部長の開会と歓迎の挨拶、そして地元の 川口 宏幸 奈良運輸支局長のご挨拶と乾杯の発声で和やかに始まりました。

そして懇談は、新副会長の 池田 英憲 奈良県支部長の中締めで、名残惜しい中お開きとなりました。



無線関係優良従業員17名が表彰される

通常総会に先立ち、「令和5年度無線関係優良従業員表彰式」が執り行われ、17名の方々の表彰が発表されるとともに、式典に出席した受賞者7名全員に池田会長から表彰状の授与と記念品の贈呈が行われました。

1 発明、人名救助、犯罪防止・災害時対応等の功勞により表彰（2名）

近江タクシー株式会社 向井 隆司 様 及び 小林 ます美 様

令和5年2月2日、配車依頼の電話に不審感を抱いた配車オペレータと配車担当者が連携し、機転を利かせた電話対応と警察署への迅速な通報により特殊詐欺容疑者の検挙に貢献されました。

2 自動車無線に永年従事し勤務成績優秀により表彰（15名）

生駒交通株式会社	徳地 美恵子 様	全大阪個人タクシー(協)	坂井 久也 様
錦タクシー株式会社	藤本 謙治 様	ダイヤ交通株式会社	佐藤 茂 様
大阪トンボ交通株式会社	菅野 淳子 様	仲川交通株式会社	亀田 真理 様
梅田興業株式会社	井上 正山 様	阪神タクシー株式会社	稲富 誠 様
岸和田交通株式会社	渡辺 みゆき 様	日の丸交通株式会社	栢木 謙次 様
近鉄タクシー株式会社	遠藤 一明 様	日の丸ハイヤー株式会社	下川 孝夫 様
桜井交通合資会社	川口 武士 様	大和交通株式会社	山本 透 様
西神交通株式会社	本田 裕一 様		



来賓ごあいさつ

公務ご多端の折、次の方々にご臨席いただき、ご挨拶を頂戴しました。



総務省 近畿総合通信局 局長	井上 知義 様
無線通信部長	棚田 剛 様
陸上第三課長	岩本 聡 様
上席電波検査官	青木 英治 様
電波検査官	阪本 勝 様

近畿総合通信局長 井上 知義 様 ご挨拶

只今ご紹介いただきました近畿総合通信局長の井上でございます。

この度は、近畿自動車無線協会 令和5年度通常総会のご盛会を祝し、一言ご挨拶を申し上げます。はじめに、開催に当たりましてご尽力いただきました関係者の皆様に改めて御礼申し上げますとともに、本日、犯罪の抑止及び無線によるタクシーの円滑運行に永年貢献され表彰を受けられました皆様方に、重ねてお祝い申し上げます。

また、本総会でご勇退されました池田会長様におかれましては、昭和57年から理事を務められ、副会長、会長と要職に就かれた間には、タクシー無線のデジタル化移行など大きな変動期においてリーダーシップを発揮し推進いただきましたことに感謝申し上げる次第です。

さらに、本日お集まりの皆様におかれましては、日頃より総務省の情報通信行政の推進に格別のご支援とご協力を賜り、この場をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。

さて、近年、タクシー無線を取り巻く状況は大きく様変わりしてきており、IP 無線や配車アプリといった多様なサービスが生まれてきています。

一方、世の中は高齢化が進み、運転免許を返納した高齢者も増えてきております。このような方々にとって、タクシーは日常生活や経済活動を支える、最も身近な移動手段であることは言うまでもありません。

スマートホンをうまく使いこなせない高齢者は、これまで同様に電話による配車をお願いしている現状を多く耳にします。また、自営のタクシー無線については即時性も高く、本日の表彰にもありますように犯罪の防止や、さらには地域の防災にも活用いただけるものとなっております。

少し話しは変わりますが、関西で再来年開催されます万博では、空飛ぶクルマの運航が実現視されておりますし、AIの進化により自動運転の実現も間近となり、新たなモビリティ社会が構築されようとしています。

このように、デジタル化や情報通信技術の発展により社会が大きく変わろうとしている最中ではありますが、引き続き、タクシー無線の有効活用を進めていただき、地域における、「優しいモビリティ」であり続けていただけるよう、業界一丸となって取り組んでいただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、近畿自動車無線協会及び会員の皆様方の益々のご発展とご健勝を祈念いたしまして、私の祝辞とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。



国土交通省 近畿運輸局 自動車交通部長	北川 健司 様
旅客第二課長	河原 正明 様
奈良運輸支局長	川口 宏幸 様
首席運輸企画専門官	釈迦戸久夫 様

近畿運輸局 自動車交通部長 北川 健司 様 ご挨拶

只今ご紹介を頂きました近畿運輸局自動車交通部の北川でございます。

皆様には、平素より国土交通行政に格別のご理解とご協力を賜っておりますこと、この場を借りて厚く御礼

申し上げます。令和5年度通常総会にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

まずは、新型コロナウイルス感染症の影響により、タクシーの利用者が減少し、また、燃料費の高騰も受け、大変厳しい状況ではありますが、皆様方にはエッセンシャルサービスとして、事業継続して頂いていることに大変感謝申し上げます。

また、池田会長におかれましては、コロナ禍においてタクシー業界が苦境に立たされたなか、2期半5年にわたり、タクシー無線業界のために尽力され、その重役を全うされました。長きにわたりタクシー無線業界の先頭に立って引っ張っていただいたことに、改めて感謝を申し上げます。

これからは、坂本新会長の指導力によって、業界の一層の組織結集を呼びかけていただくことで、さらに飛躍されていくものと期待しております。

さて、5月8日から新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に移行いたしました。ポストコロナ時代の急速な社会構造の変化に対応するために、DXを通じたタクシー利便性向上の動きはますます進展してまいります。スマートフォンだけでアプリ配車、キャッシュレス決済が完結出来る仕組みは、これからも増えていくものと考えております。

Ma a Sの取組に関しましても、交通・観光をはじめとする幅広い分野で連携を促進し、取組を共同で実施していくという目的で、一昨年12月に関西Ma a S推進連絡会議を設置しました。特に、関西地方においては、2025年に大阪・関西万博を控えることから、万博におけるMa a Sとの連携により、来場者の利便性向上についても取り組みを行っているところです。

タクシー無線につきましては、これまでも、タクシー会社を選んだうえで地域に根付いたタクシーサービスとして大きな社会的役割を果たされてきたところです。現在、スマートフォンによるアプリ配車が増えてきておりますが、高齢者などスマートフォンに不慣れな方々にとっては、無線配車は大切な利用手段でありますので、今後とも、無線によるサービスを提供していくことは必要であると考えております。

日頃の輸送の安全確保はもとより、タクシー無線の特長を生かし、地域・利用者ニーズへのきめ細かな対応について、無線事業の発展と組織の強化につきまして、業界が一丸となって取り組んでいただきますよう、改めてお願い申し上げます。

また、本日、「無線関係者優良従業員表彰」が挙行され、17名の皆様受賞おめでとうございます。

国土交通省としても、引き続き、タクシー無線が、社会、地域に貢献されていくことを期待いたします。

結びにあたり、近畿自動車無線協会の益々のご発展、そして本日ご列席の皆様の健勝・ご多幸を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

奈良県警察本部 交通部参事官 今村 浩三 様 ご挨拶 (要旨)

ご紹介を頂きました奈良県警察本部交通部の今村でございます。本来であれば、交通部長よりご挨拶申し上げるべきところ、本日公務につき、私の方からごあいさつ申し上げます。

近畿協会の皆様方におかれては、タクシー運行における模範運転の励行より、近畿管内の交通マナー向上に大きな影響を与えていると考えられています。

タクシー無線を通じまして、リアルタイムに犯罪抑止や交通事故防止に資する情報をいただいておりますこと心より感謝申し上げます。

特に奈良県では、社会的反響の大きい振り込め詐欺において、タクシー無線を使ってリアルタイムに情報提供をいただくことによって被害の未然防止や被疑者の逮捕につながった事例があり、タクシー無線による情報提供が非常に役に立っているところでございます。

さて、この機会に交通情勢につきましてお伝えさせていただきます。5月25日現在、近畿管内での交通



事故死亡者は163名で前年同期比12名増となっています。この間重症者も多くなっており、景気が戻るとともに事故も増えてきており、とても楽観できる状況ではないと考えています。また、大きな問題と捉えているのが、新たなモビリティの出現で、改正道交法が公布され本年7月1日から、特定小型原動機付自転車いわゆる「電動キックボード」が公道上を走るようになります。これは、16歳以上であれば免許なしで誰でも運転できるもので、交通ルールの知識がないままの走行、タイヤが小さいことによる段差等での転倒の危険性も含めて、その特殊性から重大な事故につながる可能性がございます。各府・県警本部ではあらゆる機会を捉えて安全教育や情報発信を進めているところですが、皆様方にも是非ご認識いただき職場でもご家庭でもこういった安全対策等のお話を進めていただければと考えます。

最後に貴協会の益々のご発展、本日ご出席の皆様方のご健勝を記念して、ご挨拶とさせていただきます。

一般社団法人全国自動車無線協会 専務理事 岡崎 邦春 様 ご挨拶 (要旨)



ご紹介いただきました全自無連の岡崎でございます。久しぶりに総会に出席させていただきましたが、まずもって長年にわたり会長としてご尽力いただきました池田前会長に感謝申し上げます。また、坂本新会長には、これまでもご指導いただいております。無線の集中基地関係でも直接ご指導いただいた方であり、今後の厳しい協会の立場にありますが、引き続きご指導いただきますようよろしくお願いいたします。

昨今の状況としては、コロナ禍で外出・移動が制限される中で、ネットワークで配車しようとの動きとなっています。タクシー需要が減少し厳しい環境の中で経営を維持しようと奮闘される姿に敬意を表します。

その間、アプリ配車が全国に浸透しています。日本のような法人タクシーは外国にはありません。海外では運転手と車両を派遣するサービス業としてのタクシー事業があります。70年に及ぶ歴史のある会社組織とそこで運行管理を行うという運営形態に、車両とお客様を直接マッチングする配車アプリが入ってきており、組織的に配車、運行指示する形態に直接マッチングが入ることにより、弊害というかひずみが生じてきています。

アプリ配車は非常に便利がいい。でも、アプリ配車で、地方の駅のタクシー乗り場では待っても来ない、あるいは会社から連絡が来ても供給確保できない状況が出てきたり、スマホを使わない高齢者や交通弱者には難しい対応となっています。この組織的に行う無線配車と車とお客様の直接配車とのひずみが直さないといけない課題となっています。加えて、きめ細かな配車が対応できなくなっています。こうした課題がコロナを期に現れました。どのような改善策があるのか検討しておりますが、こうした改善策の取組を含めて、協会の活動、会員への支援を重視した取組が必要となっています。

今回、新しい役員と組織体制が確立されましたが、さらに会員各位の協会へのご結集、ご協力をお願いして、私の挨拶とします。



全自無連 第63回通常総会 東京にて開催

～ デジタル変革によりタクシー無線で利便性の向上を ～



全国自動車無線連合会第63回通常総会は、昨年に引き続き東京開催で、千代田区の東京グリーンパレスにおいて、理事会クラスまで規模を縮小して開催されましたが、全国から40名を超える参加となっています。

冒頭、あいさつに立った 高野公秀 会長は、「タクシー業界は、コロナ禍、慢性的な人材不足、燃料をはじめとする諸物価高騰、ウクライナ紛争等により厳しい状況であったが、東京を皮切りに全国的に運賃改定が進められようやく明るい兆しが見えてきた。しかし人不足は深刻で、日本では平均年齢が高く労働人口の比率低下が課題となっており、政府においても「異次元の少子化対策」が始まったが、この効果が表れるまでには20数年かかる。当面、定年延長、女性の職場進出、さらには外国人労働者の活用、勤務時間のフレキシブル化等で補完していくことも重要。

インバウンドをはじめ、需要は拡大しているが、サービスする側が少ない状況の中で、その仕事を効率化するときに必要なのが無線でありアプリである。タクシーも乗務員不足のため路上ではなかなか捕まらないのが実状。お客さんを取りきれずもったいない話。ここで効率的に使えるのは無線とアプリの活用に他ならない。お客様にとっても、選択肢が多い方が便利であるに違いない。

また、災害に強いのも無線。過去の教訓からも大きな災害が発生したときは携帯電話・スマホの通信回線は規制がかかるが、無線だけは機能する。これは仙台にもある私の会社が東日本大震災で経験したことだが、大地震のときに使えるのは専用波の無線だけであり、無線は命綱である。

それから、大都市と地方都市では無線とアプリではその利用度がかかなり違うということ。顧客とタクシー会社との人間的な距離感が違う。またアプリは件数を多く捌くことはできるが人間味はない。だから、無線とアプリ両方があった方がよい。特に地方都市では無線は絶対に必要なもの。大都市と地方都市の構造が全然違っていることを理解して使うことが大切である。

日本は広く、いろいろな地域ごとの特徴がある。そこでどのようなタクシーサービスを提供していくのかということ考えたときに、無線は非常に重要なツールなので、その利用を促進していきたいと考えている。また、無線機メーカーも積極的に機器の製造をお願いしているところ。今後いかにツールを使いこなしていくかが求められてくると思う。いずれにしてもコロナからの急回復には乗務員確保が急務であり、無線ツールを活用しながら、地域の信頼に応えていく。」と挨拶がありました。

全自無連 令和5年度事業計画の重点課題

- 1 無線活用によるタクシー事業の継続維持
- 2 アプリ配車の導入に伴う配供給の適正化
- 3 AI・モビリティ社会の無線活用の調査研究
 - ・地域 ICT 活用の調査研究
 - ・無線共済事業の見直し
- 4 情報把握・知識の普及及び組織活動の検討

続く議事では、すべての議案が満場一致で承認決議され、新年度事業計画では、無線によるタクシー事業の継続維持など「4つの重点課題」を掲げ、タクシー事業の継続と無線による社会貢献など、すべての会員の組織強化と会員支援を重視した活動に取り

組んでいくことが確認されました。また、新年度収支予算については、会員及び無線局の減少により会費収入の減少が続く状況を踏まえ、人件費の節減、会議規模の縮小や交通費の削減・節約に努めて予算執行を図っていくこととなりました。なお、出席理事から、地方協会の厳しい財政状況から負担する連合会費について質問が出されましたが、「全国の地方協会においても同様に大変厳しい状況にあり、正副会長会でも論議しているところ。検討の上、遠くないうちにその方策や対策について出していきたい。」との回答がなされました。

なお、本年は役員改期ではありませんが、近畿から、池田 誠也 副会長、川本 恵三 理事が退任したことから、その後任として、それぞれ 池田 英憲 副会長と 兼元 秀和 副会長が新たに理事に選任されました。

また、今回副会長2名の退任があったため後任の副会長を選定するため理事会が開催され、近畿からは、池田副会長の後任として、坂本 栄二 会長が全自無連の副会長に選任されました。

次期通常総会開催地につきましては、厳しい財政事情などから引き続き東京において令和6年6月に開催されることとなりました。

また、総会では、長期功労のあった方や役員を退任された方々に表彰状や感謝状が贈られ、近畿では、全自無連理事10年の 吉川 紀興 副会長、古知 愛一郎 理事、地方協会理事15年の 信原 智彦 元理事（荒井タクシー有限会社）に永年功労として表彰状と記念品が、また、今総会で退任された 池田 誠也 前会長、川本 恵三 前副会長に感謝状と記念品が贈呈されました。



最後、閉会のあいさつに立った 坂本 栄二 副会長は、「アプリが特に都市では普及しているが、無線は大事にせなあかん。公共交通機関の一員として、タクシー無線を活用して、地域の防災防犯の一助を担い、地域の足として存在感を示し、『タクシーがあって良かった』と市民の応援をいただくことが大事で、そのことがひいてはライドシェア回避にもつながる。無線を活用しながら地域の足として頑張りましょう。」と結びました。



本年度の無線従事者免許講習会について

本年度の無線従事者免許講習会を次のとおり実施します。受講申込みは7月25日（火）までです。受講人数に若干の余裕がありますので、追加の希望がありましたら、事務局までご連絡ください。

- 日 時 令和5年9月8日（金） 8時45分～18時10分
- 場 所 天満研修センター 会議室
大阪市北区錦町2-21（JR大阪環状線「天満駅」下車 徒歩3分）
- 内 容 電波法規、無線工学の講習及び修了試験
- 費 用 会員一人当たり 15,000円（教材、受講料、免許申請用収入印紙代込み）

※「事務局編集後記」はお休みします。総会特集号となってしまいました。

一般社団法人 近畿自動車無線協会 のホームページ、電子メール

U R L <http://www.disclo-koeki.org/09a/01017/index.html> 「近畿自動車無線」 検索
近自無協メール kinmukyo@garnet.broba.cc
電子申請メール dkinmukyo@dmil.plala.or.jp